

**原料費調整(スライド)制度に基づく  
平成18年1月～3月のガス料金について  
(41.8605 ㏎ジュール/m<sup>3</sup>地区)**

平成17年10月28日  
北陸ガス株式会社

北陸ガスは、「原料費調整(スライド)制度」に基づいて、平成18年1月～3月検針分に適用される従量料金単価の見直しを行いました。

その結果、別紙のとおり、平成17年10月～12月検針分に比べて従量料金単価を**1 m<sup>3</sup>あたり+1.386円(税込)調整**させていただくこととなりました。

ただし、新潟市黒埼地区(37.9674735 ㏎ジュール/m<sup>3</sup>)のお客さまのガス料金については変更はございません。

今回のガス料金の調整は、平成17年7月～9月のLNGおよびプロパン平均価格(貿易統計値)により算定された平均原料価格が、前期(平成17年4月～6月)との比較で上昇したことによるものです。

なお、平成18年1月～3月検針分に適用する料金につきましては、弊社の本社および支社等の店頭での掲示や、検針時に各戸にお届けする「ガス使用量のお知らせ(検針票)」などで、お客さまにお知らせいたします。

以上

< 問い合わせ先 >  
北陸ガス株式会社  
総合企画グループ  
TEL 025-245-2214

## 料 金 表 (平成 18 年 1 月 ~ 3 月)

一般契約早収料金 (各月のご使用量に応じて A・B・C・D いずれかの料金表が適用されます)

現行の従量料金単価 (平成 17 年 10 月 ~ 12 月検針分) と比較した場合、**1 m<sup>3</sup>あたり + 1.386 円 (税込) の調整**となります。

なお、基準従量料金単価に対して **+ 2.0055 円 (税込)** 調整して料金を算定いたします。

	月間使用量 区分	基本料金	従 量 料 金		
			H18.1月~3月	基準従量料金単価	H17.10月~12月
料金表 A	0 ~ 20 m <sup>3</sup> まで	546.00 円 (520 円)	<b>110.6805 円 (105.41 円)</b>	108.6750 円 (103.50 円)	109.2945 円 (104.09 円)
料金表 B	20 m <sup>3</sup> 超 ~ 100 m <sup>3</sup> まで	817.95 円 (779 円)	<b>97.0830 円 (92.46 円)</b>	95.0775 円 (90.55 円)	95.6970 円 (91.14 円)
料金表 C	100 m <sup>3</sup> 超 ~ 350 m <sup>3</sup> まで	972.30 円 (926 円)	<b>95.5395 円 (90.99 円)</b>	93.5340 円 (89.08 円)	94.1535 円 (89.67 円)
料金表 D	350 m <sup>3</sup> 超 ~	3,133.20 円 (2,984 円)	<b>89.3655 円 (85.11 円)</b>	87.3600 円 (83.20 円)	87.9795 円 (83.79 円)

下段 ( ) 内は税抜  
基本料金は変わりません

< ガス料金の計算式 >

$$\text{ガス料金} = [\text{基本料金 (税抜)} + \text{ガス使用量} \times \text{従量料金単価 (税抜)}] + [\text{消費税等相当額}]$$

[ ] 内で円未満を切り捨てます

## モデル家庭における影響

1 カ月のご使用量	H18.1月~3月 適用料金	H17.10月~12月 適用料金	増減額	増減率
50 m <sup>3</sup>	<b>5,672 円/月 (5,402 円/月)</b>	5,602 円/月 (5,336 円/月)	+70 円/月 (+66 円/月)	+1.25 % (+1.24 %)

モデル家庭とは、月間のガスご使用量が 50 m<sup>3</sup> のご家庭をいいます  
下段 ( ) 内は税抜

## お 客 さ ま へ の 周 知

- 原料価格につきましては、当社一般ガス供給約款に基づき、当社の本社および支社等の店頭において掲示いたします。
- 個別のお客さまには、見直し後の従量料金単価を検針時に各戸にお届けする「ガス使用量のお知らせ (検針票)」などで、あらかじめお知らせいたします。

## 平均原料価格と調整単位料金の算定について

	H17.7月~9月 原料価格	(基準原料価格)	〔 H17.4月~6月 原料価格 〕
LNG平均価格(貿易統計値)	35,790 円/t	29,940 円/t	31,720 円/t
プロパン平均価格(貿易統計値)	47,500 円/t	42,830 円/t	46,970 円/t
平均原料価格	36,100 円/t	30,260 円/t	32,090 円/t

### 平均原料価格の算定

$$\begin{aligned}
 < \text{平均原料価格} > &= \text{LNG平均価格(平成17年7月~9月貿易統計値)} \times 0.9807 \\
 &\quad + \text{プロパン平均価格(平成17年7月~9月貿易統計値)} \times 0.0210 \\
 &= 35,790 \text{ 円/t} \times 0.9807 + 47,500 \text{ 円/t} \times 0.0210 \\
 &= 36,096.753 \text{ 円/t} \\
 &\quad \text{(10円未満四捨五入)} \\
 &= 36,100 \text{ 円/t}
 \end{aligned}$$

### 原料価格変動額の算定

$$\begin{aligned}
 < \text{原料価格変動額} > &= \text{平均原料価格} - \text{基準平均原料価格} \\
 &= 36,100 \text{ 円/t} - 30,260 \text{ 円/t} \\
 &= 5,840 \text{ 円/t} \quad [1,510 \text{ 円(調整バンド)} \text{ を超えているため調整します}] \\
 &\quad \text{(100円未満切捨て)} \\
 &= 5,800 \text{ 円/t}
 \end{aligned}$$

### 調整単位料金(1m<sup>3</sup>あたり)の算定

$$\begin{aligned}
 < \text{調整単位料金} > &= \text{基準単位料金(税抜)} + 0.033 \text{ 円} \times \text{原料価格変動額} / 100 \text{ 円} \\
 &= \text{基準単位料金(税抜)} + 0.033 \text{ 円} \times 5,800 \text{ 円} / 100 \text{ 円} \\
 &= \underline{\text{基準単位料金(税抜)} + 1.914 \text{ 円}}
 \end{aligned}$$

小数点第3位以下の端数は切り捨て

原料価格の変動100円につき、従量料金単価を1m<sup>3</sup>あたり0.033円調整します。

### 上記計算の結果、

基準従量料金単価に対し、1m<sup>3</sup>あたり+2.0055円(税込)[+1.91円(税抜)]調整します。

現行の従量料金単価(平成17年10月~12月検針分)と比較した場合、1m<sup>3</sup>あたり+1.386円(税込)の調整となります。

## 原料費調整(スライド)制度の概要

LNGおよびプロパン原料価格の変動に応じて、3ヵ月ごとにガス料金の従量料金単価を調整する制度です。

「基準平均原料価格(30,260円/t)」と「平均原料価格(3ヵ月ごとのLNGおよびプロパン平均価格(貿易統計値)により算定)」との差額に基づいて、原料価格の変動100円につき、1m<sup>3</sup>当たり0.033円従量料金単価を調整します。

料金の小幅かつ頻繁な調整や、大幅な変動を避けるための仕組みを設けています。

- ・「平均原料価格」と「基準平均原料価格」との差額が、1,510円(調整バンド)以内であるときは、ガス料金の調整は行われません。
- ・「平均原料価格」が、48,420円(上限値)を超えた場合には「平均原料価格」は48,420円であるとしてガス料金の調整を行います。

1月~3月の3ヵ月間の原料費変動結果を7月~9月検針分に反映します。

4月~6月の3ヵ月間の原料費変動結果を10月~12月検針分に反映します。

7月~9月の3ヵ月間の原料費変動結果を翌年1月~3月検針分に反映します。

10月~12月の3ヵ月間の原料費変動結果を翌年4月~6月検針分に反映します。